

# 平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	274 廃棄物処分場管理運営事業									
総合計画	めざまちの姿	4	自然と環境に配慮したきれいなまち			担当部	環境部				
	基本計画【施策】	4-②資源循環型社会を構築する				担当課	廃棄物対策課				
関連予算科目	一般	会計	04	款	衛生費	02	項	清掃費	01	目	塵芥処理費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	廃棄物処分場管理運営費			細事業名 (事業2)	廃棄物処分場管理運営事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	全市民					
事業期間	開始年度	—		終了予定年度	—						
事業の目的	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、市民生活により排出される廃棄物を安定的に埋立処分する。										
事業の概要	笠子廃棄物処分場と新居一般廃棄物処分場に係る施設の一般維持管理(浸出水水質検査、分別推進、再資源化、廃棄物発生抑制)及び車両等の維持管理、周辺環境整備(地元対策)の実施。										

## 2. 事業の実績 (Do)

事業実績	搬入・搬出に係る受付及び車両等の維持管理、廃棄物処理法第8条の3及び省令第1条の技術上の基準を遵守した運営、新居・湖西地区の地元対策を実施。笠子処分場内の借地の買収を行った。									
課題	施設等の老朽化対策、長寿命化計画の策定。埋立管理に伴う笠子廃棄物処分場内の借地買収、地元への理解・協力等。									
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度			
	事業費 (A)	当初予算額	66,160	千円	53,942	千円	58,811 千円			
		決算(見込)額	61,867	千円	43,556	千円	千円			
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0	千円	0	千円	0 千円			
		一般財源	61,867	千円	43,556	千円	58,811 千円			
	人件費 (B)		9,782	千円	9,456	千円	14,017 千円			
	人工(職員数の内訳)		1.32	人	1.29	人	1.92 人			
トータルコスト (A) + (B)		71,649	千円	53,012	千円	72,828 千円				
活動指標	内容		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	笠子・新居廃棄物処分場浸出水水質基準値遵守率	%	目標	100	100	100				
			実績	100	100	千円				
達成度			100.0%	100.0%	千円					

## 3. 評価 (Check)

総合判定	<p>A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>施設及び管理車両の法定点検等維持管理、処理水等の法定基準値を遵守した維持管理は必要であり、老朽化する設備の改修に予算等の投入が必要。</p>	
------	--	--

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	水処理施設に伴う設備の老朽化を改善するとともに、雨水対策による負荷の軽減を図った。事務処理上の改善を図るため、廃棄物処分場の維持管理に係る費用を一本化。

# 平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	282 廃棄物対策事業									
総合計画	めざすまちの姿	4	自然と環境に配慮したきれいなまち			担当部	環境部				
	基本計画【施策】	4-②資源循環型社会を構築する				担当課	廃棄物対策課				
関連予算科目	一般	会計	04	款	衛生費	02	項	清掃費	01	目	塵芥処理費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	廃棄物対策費			細事業名 (事業2)	廃棄物対策事業				
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託		対象	全市民					
事業期間	開始年度	—		終了予定年度	—						
事業の目的	家庭系一般廃棄物を適正に収集し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。										
事業の概要	家庭系一般廃棄物の収集と運搬を委託して実施する。										

## 2. 事業の実績 (Do)

事業実績	家庭系一般廃棄物の収集と運搬を委託して実施した。（可燃ごみ、不燃ごみ、剪定枝と草、ペットボトル、飲料水缶、ガラスびん、プラマーク品、白色トレイ、乾電池、スプレー缶など）指定ゴミ袋の作成、資源物回収拠点整備、リサイクル推進事業、広報PR、容リ協、浜松市への可燃ごみ委託の実施。新デザイン雑紙回収袋、生ごみ絞り器の作成、ふとん、畳、硬質プラスチックのリサイクル化を開始。										
課題	ごみの収集・運搬に多くの経費がかかる。ルール違反ごみ、不法投棄、ごみ減量対策等。29年度中に、浜松市へのごみ焼却の委託期限（36年1月末）後のごみ処理方法を検討・決定する必要がある。										
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度				
	事業費 (A)	当初予算額	655,787	千円	619,199	千円	612,087 千円				
		決算（見込）額	648,482	千円	606,454	千円	千円				
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	102,394	千円	49,303	千円	51,524 千円				
		一般財源	546,088	千円	557,151	千円	560,563 千円				
	人件費 (B)		40,819	千円	48,040	千円	40,421 千円				
	人工（職員数の内訳）		5.51	人	6.58	人	5.53 人				
トータルコスト (A) + (B)		689,301	千円	654,494	千円	652,508 千円					
活動指標	内容		単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	すべてのごみステーションと資源物回収拠点のうち毎回回収している率		%	目標	100	100	100				
				実績	100	100	千円				
		達成度	100.0%		100.0%						

## 3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》	
	すべてのごみステーションと資源物回収拠点から収集、運搬は必要であり、当面、事業内容、実施方法ともに現行水準を維持していくことが適当である。ごみ減量のための各種分別方法の徹底、リサイクル項目の増加や指導・PRを推進していくことが適当である。	

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の事業の方向性	継続
今後の取組内容（課題に対する改善等）	積極的な広報と啓発によって、ごみと資源の分別の徹底を図り、ごみ量を減少させる。また、市民や地域と一体となって、ルール違反ごみや不法投棄ごみの削減を目指していく。

# 平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

## 1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	289 ごみ処理施設管理運営事業									
総合計画	めざまちの姿	4	自然と環境に配慮したきれいなまち			担当部	環境部				
	基本計画【施策】	4-②資源循環型社会を構築する			担当課	廃棄物対策課					
関連予算科目	一般	会計	04	款	衛生費	02	項	清掃費	01	目	塵芥処理費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	ごみ処理施設管理運営費			細事業名 (事業2)	ごみ処理施設管理運営事業				
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託		対象	全市民					
事業期間	開始年度	—		終了予定年度	—						
事業の目的	法規定に基づく維持管理基準を遵守し資源循環型社会を実現するため、資源の有効な利用の確保を図る。										
事業の概要	環境センターで処理した可燃ごみ等を運搬するため、運搬車両を管理を行うとともに環境センターリサイクルプラザの管理及び運営を行う。										

## 2. 事業の実績 (Do)

事業実績	運搬車両及び施設設備機器等に係る維持管理保守点検及び搬入された廃棄物の破砕・選別、資源化、運搬、処理を法定基準内で滞りなく行った。また、家庭系持込ごみの有料化をH25.10月から実施した。										
課題	設置が平成10年であったので、いろいろな機械が寿命となっている。焼却をやめたことによる施設の有効活用。										
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度				
	事業費 (A)	当初予算額	314,690	千円	313,550	千円	321,038 千円				
		決算 (見込) 額	309,168	千円	301,906	千円	千円				
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0	千円	44,149	千円	32,830 千円				
		一般財源	309,168	千円	257,757	千円	288,208 千円				
	人件費 (B)		17,608	千円	17,020	千円	21,301 千円				
	人工 (職員数の内訳)		2.37	人	2.33	人	2.91 人				
トータルコスト (A) + (B)		326,776	千円	318,926	千円	342,339 千円					
活動指標	内容		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度					
	リサイクル率		%	目標	37	40					
				実績	39	40					
	達成度			105.4%	100.0%						

## 3. 評価 (Check)

総合判定	C 「課題が多く、事業内容や進め方に見直しが必要な事業」 《判定理由》	
	廃棄物処理施設の維持管理基準を遵守した運営は必要であり、今後、老朽化した機械の更新等にさらなる予算等の投入が必要となる。 また、ごみの処理について一般的・効率的な処理方法の検討が必要となっている。	

## 4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	計画的な機械設備の修繕を行い長寿命化を図る。リサイクル業務を推進し、焼却委託する可燃ごみと埋立ごみの削減に努める。